

第5学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 「弱いロボット」を通して、人間どうしのつながりを考えよう
- 2 教材名 「弱いロボット」だからできること（東京書籍 5年）
- 3 ねらい 人間同士のつながりについて考えたことを伝え合い、様々な考え方に触れながら、人間同士のつながりの大切さについての理解を深める。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化 3—（2）—ア
- 5 展開（第6時）

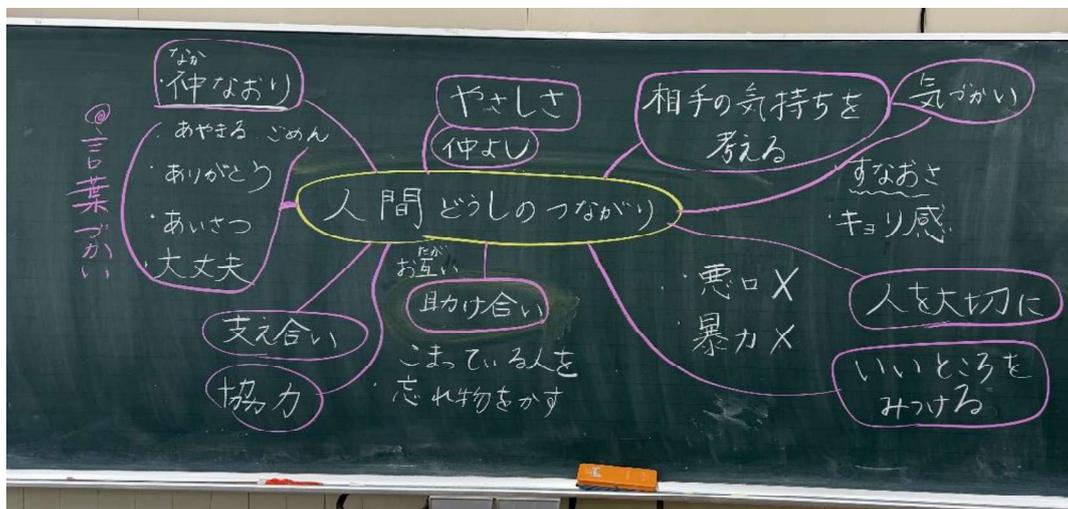
学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 これまで学んできた弱いロボットについて振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どうして弱いロボットが必要なのでしょう。</li> <li>・ 助けたくなるから。</li> <li>・ みんなが、そのロボットに自分から関わろうとするから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 弱いロボットだからこそ、周りの人の「助け」や「助け合い」を引き出せることを伝える。</li> </ul>
2 今まで自分がどんな場面で周りに支えられてきたのか、また、どのような言葉をかけてもらったのかについて考え、整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までどんな場面で家族や友人などに支えられましたか。また、その時にどのような言葉をかけてもらいましたか。</li> <li>・ 重たい荷物を持っている時に「半分持つよ。」と言ってもらった。</li> <li>・ 野球の試合で負けたときに、「次の試合に向けていっしょにがんばろう」と励ましてもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意見が出しにくい場合には、困っている時に助けてもらった経験がないかを振り返らせる。</li> <li>○ 自分が支えられたと思う経験も想起させ、支え合いがあることを改めて自覚させる。</li> </ul>
2 人間どうしのつながりに大切なものについて、考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心地よい人間どうしのつながりに大切なものは何かを考えて、書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大切なものについて考えが出にくい児童については、支えられた経験から、何がうれしかったのかについて考えて記述できるようにする。</li> </ul>
3 人間どうしのつながりについて、大切にしたいこと（求めること）を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間どうしのつながりについて大切にしたいことをお互いに発表しよう。</li> <li>・ ちがいを認めることが一番大切だと思います。自分とは異なる意見を楽しみたいからです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童から出た意見を分類し、板書することで、意見をいくつかのまとまりとして、視覚的に理解しやすいようにする。</li> </ul>
4 学級で「心地よい人間どうしのつながり」をつくるために、特に大切にしたいことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級の中で「心地よい人間どうしのつながり」をつくるために、特に大切にしたいことを発表しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級の中での関係づくりについて具体的に考えさせることで、自分の生活を振り返られるようにする。</li> </ul>
5 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習を振り返り、これからの自分自身の生き方について考えてみましょう。</li> <li>・ 人とのつながりを密にしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学んだことを振り返り、心地よい人間どうしの関係づくりのために、どのような生き方をしていきたいかを考えさせる。</li> </ul>

[別紙②]

ワークシート

<p style="text-align: center;">5年 番 名前 ( )</p> <p style="text-align: center;">○クラスの中で「心地よい人間どうしのつながり」をつくるために大切にしたいことを集めよう</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; margin: 20px auto; padding: 5px; text-align: center;">人間どうしのつながり</div>	<p style="text-align: center;">5年国語「弱いロボット」だからできた「あて」</p> <p>「あて」心地よい人間どうしのつながりについて考えよう</p> <p>一 今までのような場面設定で、友達や友達から支えをもらいましたが、また、その時にどのような言葉をかけましたか</p> <p>二 クラスの中で「心地よい人間どうしのつながり」をつくるために、特に大切にしていきたいことはなんですか</p> <p>三 これまで学習をふりかえり、これからの自分自身の生き方について考えよう</p>
---	--

板書



授業後のふり返し

- ・ みんなと仲良くし、けんかをしないためには、言葉づかいをよくする。もし、けんかをしたとしても、すぐにあやまり仲直りできるようにする。また、人助けをいつでもどこでもする。
- ・ 言葉づかいや人を大切にして助け合う生き方をしたい。
- ・ 自分だけがよければいいのではなくて、友だちも自分も楽しかったりうれしかったりするほうがいい。
- ・ 一人ぼっちの子に声をかけたり、困っている子がいたりしたら助ける。
- ・ あいさつを大切にすると、人と人とのコミュニケーションがよくなり、友だちができると思います。さらに、あいさつができる人と元気づけられると思う。